

バリアブルギヤレシオシステム/VGRS システム / ダイアグコード点検/消去

ダイアグノーシスコード出力点検

a. ダイアグノーシスコード読み取り(TaSCAN使用)

- i. IG OFFにする。
- ii. SST(TaSCAN)をDLC3に接続する。
SST
09991-70200
- iii. IG ONにする。
- iv. SST(TaSCAN)の表示画面の“診断”→“シャシ”→“VGRS”→“ダイアグコード・フリーズデータ”の順に選択し、ダイアグノーシスコードを読み取る。

■ 注意 ■

異常がある場合は修理後、ダイアグノーシスコードの記憶を消去する。

■ 参考 ■

フリーズフレームデータが記録されている場合は、左端に“F”が表示され、その列の色が変わる。

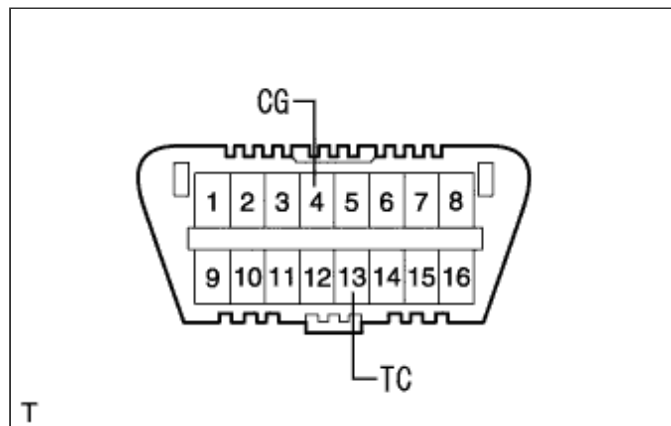
b. ダイアグノーシスコード読み取り(TaSCAN未使用)

- i. IG OFFにする。
- ii. SSTを使用して、DLC3の13(TC)-4(CG)端子間を短絡する。

SST**09843-18040**

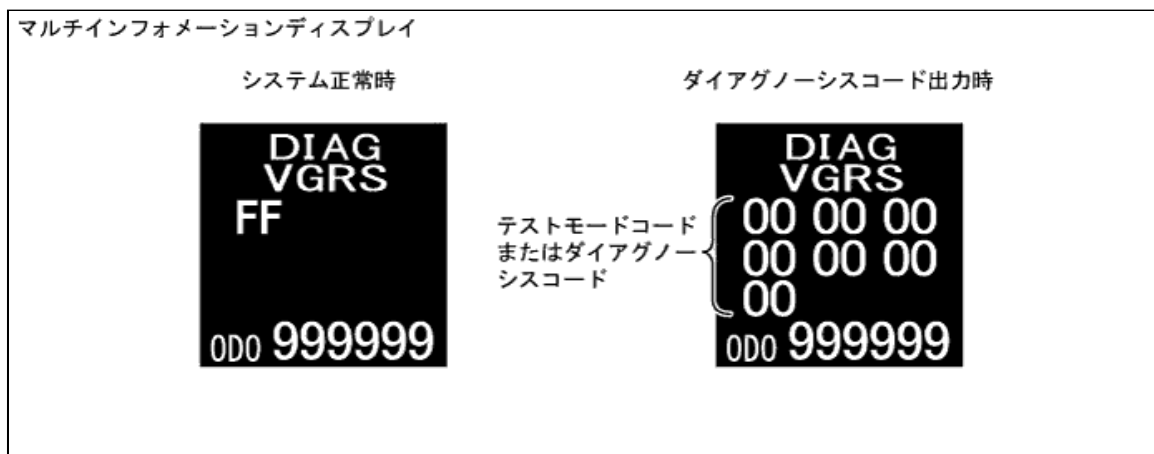
■ 注意 ■

- 故障の原因となるため、コネクタの接続位置を間違えない。
- 車両停止状態で行う。



iii. IG ONにする。

iv. マルチインフォメーションディスプレイに表示されるダイアグノーシスコードを読み取る。



■ 参考 ■

- 正常な場合は“DIAG VGRS FF”が表示される。
- ダイアグノーシスコード出力時は、“DIAG VGRS 00”(00=ダイアグノーシスコード)が表示される。

- v. DLC3の13(TC)-4(CG)端子間を開放する。

■ 注意 ■

異常がある場合は、修理後ダイアグノーシスコードの記憶を消去する。

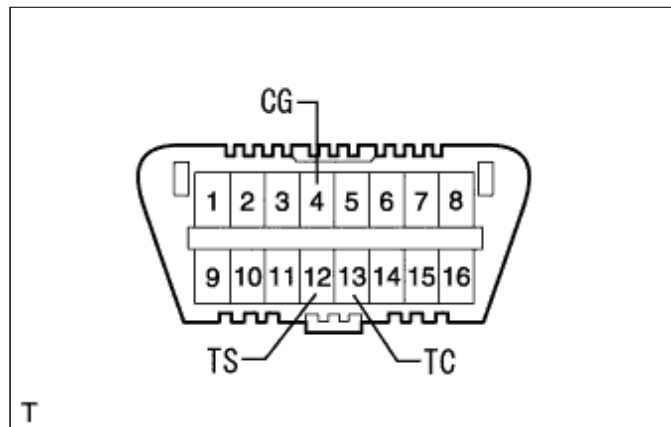
ダイアグノーシスコード消去

- a. ダイアグノーシスコード消去方法(TaSCAN使用)

- IG OFFにする。
- SST(TaSCAN)をDLC3に接続する。
SST
09991-70200
- IG ONにする。
- SST(TaSCAN)のダイアグノーシスコード表示画面の“消去”を選択し、ダイアグノーシスコードを消去する。

- b. ダイアグノーシスコード消去方法(TaSCAN未使用)

- IG OFFにする。
- SSTを使用して、DLC3の12(TS)-4(CG)端子間を短絡する。
SST
09843-18040
- IG ONにする。
- 車両停止状態で、SSTを使用してDLC3の13(TC)-4(CG)端子間を8秒以内に短絡
←→開放を4回繰り返す。
SST
09843-18040



■ 注意 ■

故障の原因となるため、コネクタの接続位置を間違えない。

- IG OFFにする。
- DLC3の12(TS)-4(CG)端子間を開放する。

■ 参考 ■

故障が継続している時は、消去できない場合がある。

- vii. ヨーレート&Gセンサの0点調整を行う。(要領は参照)

■ 注意 ■

ダイアグノーシスコードを消去すると、ヨーレート&Gセンサの記憶値が消去される。

